

「NDK施工技術のDXビジョン2031」について

当社は持続的成長に向け、2031年度（第90期）における「ありたい姿」を定めた長期ビジョン「NDK Vision 90」を掲げています。

このたび、当該ビジョンにおける施工技術に関して施工技術の未来戦略である「NDK施工技術のDXビジョン2031」を策定しました。

少子高齢化による人手不足という深刻な課題を抱える日本の社会の中で、当社は施工技術のDXを推進し、さらなる技術革新に挑戦してまいります。

日本電設工業の施工技術の未来戦略 NDK's Strategy for Future Construction Tech

MISSION（使命）

鉄道をはじめとする社会の電気・通信インフラを持続的に支え続ける日本電設工業株式会社。

少子高齢化による人手不足という深刻な課題を抱える日本の社会の中で、私達は施工技術のDXを推進することで、その責任を果たし続けます。

TARGET（目標）

当社は2031年（当社第90期）をターゲットにした「NDK施工技術のDXビジョン2031」（NDK's Construction Tech DX Vision）を策定しました。

施工のステップごとにデジタル技術をはじめとする最新のテクノロジーによりイノベーションを進めることで、全体のDXを目指します。（内容は、最新の技術情報により、見直していきます。）

Three O's TACTICS（3つのOによる戦術）

1. On-site-first（現場第一主義）

情報の共有と意思疎通を強化し、現場の作業員の負担や人手不足、監督者が日々の業務の中で直面する課題等やニーズをデジタル技術で解決できる環境を整えます。

2. Open innovation（オープンイノベーション）

他社開発品の活用、共同開発、スタートアップ企業等との連携により、コストを削減するとともに、早期の実現を目指します。

3. Optimizing resources（リソースの最適化）

当社の特徴を活かしたリソースの選択と集中を行うことで、他社に対する優位性を高めます。

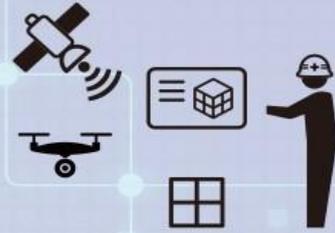
NDK施工技術のDXビジョン

NDK's Construction Tech DX Vision

未来を開発しよう

2031

1 ドローン、3Dスキャナ、GNSSによる調査測量



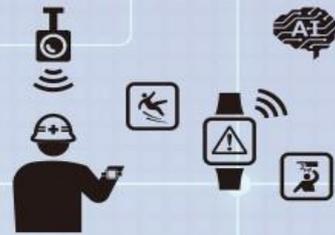
2 BIM、デジタルツイン、AIによる施工計画・設計積算



3 クラウド、XR、AIによる情報共有と施工前確認



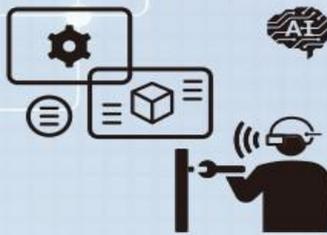
4 センサ、AIカメラによる作業員の安全管理



5 ロボット、IoT建機との協働による作業員の負担軽減と省人化



6 メガネ型デバイスとXR、AIによる施工支援



7 ネットワークカメラ、クラウドによるバックオフィスとの協働



8 モバイル端末やロボットによる施工後の確認・記録



9 クラウド、BIMによる竣工図書作成



10 XR、AIによる教育訓練

